



2024年3月18日

各位

会社名 株式会社はてな
代表者名 代表取締役社長 栗栖 義臣
(コード：3930、東証グロース)
問合せ先 コーポレート本部長 田中 慎樹
(TEL. 03-6434-1286)

2024年7月期 第2四半期決算説明会の質疑応答（要旨）について

この質疑応答集は、2024年3月15日（金）に開催した第2四半期決算説明会（各メディア、アナリスト・機関投資家向け）にて、ご出席の皆様からいただいた主なご質問とその回答をまとめたものです。理解促進のために一部内容の加筆修正を行っております。

■Mackerel について

Q: 「次世代 Mackerel」に移行し課金体系が変わった場合、既存顧客の ARPU にはどのような影響がてくるのか。

A: 「次世代 Mackerel」を実現するために、現在の課金体系である「ホスト」数単位での課金体系から、監視対象の「メトリック」数に応じた課金体系が主流となる変更を企画している。サービスのアップデートに応じた課金体系にスイッチすることが主な狙いであり、当社にとって平均の ARPU をどう上げ下げの設定するかが主眼ではないので、ARPU に与える影響については現時点ではお答えできない。ただし、昨今の円安などを起因にしたデータセンター利用料の増加の影響などを考慮しつつ、大幅な値上げ・値下げ影響が出る顧客ができるだけ発生しないようにするつもりである。

■サービス料金の改定について

Q: データセンター利用料の負担増加による価格転嫁についてはどのように考えているか。

A: 検討はしているが、現時点では発表できるものはない。当社の提供サービスは複数に渡り、個人と法人の顧客にも分かれるので、一概に全て値上げの判断は難しい。各サービスの継続性や顧客の受容の姿勢なども勘案して、検討を進めたいと考えている。

以上